



社会福祉法人 愛恵会
養護老人ホーム五葉寮
いきいき福祉センター
 釜石市鶴住居町2-20-1
 ☎0193-28-3005(本部)

震災から約3年振りに全事業を再開 施設に笑顔が戻る

釜石市の社会福祉法人愛恵会(小笠原文一理事長)が運営する養護老人ホーム五葉寮(五葉寮いきいきデイサービスセンター・老人短期入所施設を併設)は、鶴住居川から約1km上流にあり、東日本大震災で施設機能を失いました(※機械室全壊、居室床上浸水)。いきいき福祉センターは全壊しました。



明るく広々とした養護老人ホーム

震災から約3年余りとなる平成25年11月28日、鶴住居川から約4km上流に養護老人ホーム五葉寮・いきいき福祉センターが移転新築され、これにより全ての法人事業が復興再開しました。

養護老人ホームは鉄骨造り2階建て(個室50室)、広さ2,588・4㎡。デイサービスセンター(定員30名)と老人短期入所施設(2室)を併設しています。福祉センターは木造平屋建て、広さ282・38㎡。ヘルプステーション・訪問入浴・居宅介護支援センターのほか、地域交流ホールを併設しています。

2つの施設は国の災害復旧事業費補助金、五葉寮災害復旧施設整備費補助金、介護基盤復興まちづくり事業などで建設されました。

9ホームが入居者を受け入れ

大震災から復興再開までは苦難の道でのりでした。震災時の職員は76名、

役員・評議員は21名でしたが、入居者とデイ利用者の2名が尊いのちを失い、職員2名と役員1名が犠牲となりました。

震災の翌日、ホーム入居者およびデイ利用者67人は、鶴住居・栗林・橋野地区の消防団や地域の方々の支援で3か所の避難所に分散避難。その後は栗橋地区基幹集落センターに集約避難しました。

その後、ホーム入居者の安全を確保するため、3月22日に県高齢協などの支援で県内の養護老人ホーム9施設(※玉寿荘(盛岡市玉山)、松寿荘(雫石町)、清和荘(盛岡市)、宝寿荘(石鳥谷町)、はなまき荘(花巻市)、北星荘(北上市)、寿水荘(奥州市水沢)、江寿園(奥州市江刺)、長寿の森吉祥園(遠野市))に受け入れをお願いし、措置移転しました。

一方、介護系サービス事業は3月15日に鶴住居・唐丹地区の居宅介護支援センターで、デイサービスは4月から栗橋診療所跡の建物で再開。

23年8月から鶴住居地区高齢者等サポートセンターを市から受託運営しました。

全員の力で復興再開

「甚大な被害を受けて、一時は再開は無理かと思いました。しかし、疲労と混乱の中で各事業所の所長・主任ら11人が避難所に集合し、全員が復興再開の意向を示しました。それを

受けて出席可能な理事・評議員が会議を開き、法人事業の復興を確認しました。利用者や役員も被災する中、入居者の安全を確保しながら、みんな前向きでした」と、久保喜雅施設長は復興再開への決意を示した当時を振り返ります。

しかし、当初の施設再建の基本方向は《津波の心配のない安全な場所へ土地を確保して移転新築し、地域住民の安心できる避難場所として施設を設置すること》でしたが、財政的な理由から移転新築を断念。やむを得ず「現地原形復旧」を選択せざるを得ませんでした。

その後、釜石市長の意見を踏まえて安全な場所への新築移転を再度検討。市長の意見書を添えて、県に「移転に係る協議書」を提出し、移転改築が承認されました。

復興再開は「現地原形復旧」から「移転新築」へと二転三転しただけに、法人職員及び地域住民の喜びは計り知れません。

在宅サービスの充実に懸念

現在のホーム入居者は入居待機者を含めて44名(平均年齢は80代後半)。震災前は50名だったホーム入居者のうち、新しい施設に戻られた方は31名。この3年間で亡くなった方もいます。

入居者のAさん(72)は「新施設で



落成式のあとに開かれた新年会では、職員が「七福神」に扮し、復興再開の喜びを分かち合いました



デイサービスセンター



養護老人ホーム五葉寮



職員やなじみの入居者と再会し、みんな嬉し涙でした。新しい環境に戸惑いもありますが、落ち着いてきました」と笑顔で話しています。

一方、「責任誠意」のサービスを指針に掲げるいきいき福祉センターでは、職員約20人が釜石市・大槌町区域の居宅介護と訪問入浴介護などのサービスに当たっています。しかし、震災後い

ち早く事業を再開したものの、利用者の約3分の1が被災しており、利用者数は減少傾向にあります。

神田由香利居宅介護支援センター所長は「元鶴住居町の利用者は仮設で生活したり転居したりと居住地が変わったこともあり、沿岸部、山間部、限界集落までサービスエリアは広がりました。復興が進めば戻りたいという人もいます」と話し、被災地の在宅サービスの充実に懸命です。

多くの皆さまに復興感謝



久保喜雅
理事・施設長

施設機能の約8割を失った震災から約3年。法人全体が力を合わせて、やっと「落成・復興感謝の会」(平成26年1月24日)を迎えることができ、これで全ての事業がスタートしました。

震災直後からの介護保険事業の再開、ホーム入居者の措置移転、移転新築の決定、工事着工から完成までと気持ちの休まらない毎日でした。行政、福祉関係団体、ボランティア、地域の方々から多大な支援を頂きました。改めて感謝を申し上げます。

入所者に笑顔が戻る



葛西正二
主任生活相談員

県内の9施設から入所者が戻り、入所待機者の受け入れも完了しました。合わせて44名の方々の笑顔の前に安堵しています。

新規職員13人も加わり、新しい環境の中でサービスの質をどのように高めていくか。みんなで課題を共有し、新しい五葉寮をつくっていきたくと考えています。

「責任誠意」の気持ちで



岩崎登久子
主任介護支援
専門員

鶴住居地区防災センター近くにあった福祉センターは全壊しましたが、スタッフは「いまでできること」の一心で、場所を移して事業を再開しました。仮設住宅から通う職員もいます。

復興への道のりは遠くても、被災地の在宅高齢者を「責任誠意」で支えるのが私たちの仕事です。落成式後の新年会でスタッフ全員が「七福神」に扮し、復興再建の喜びを分かち合いました。

社会福祉法人愛恵会の事業

■本部・養護老人ホーム五葉寮(いきいきデイサービスセンター)

■いきいき福祉センター(いきいき指定居宅介護支援センター、鶴住居地区在宅介護支援センター、いきいきホームヘルプステーション、いきいき指定訪問入浴介護センター)

釜石市鶴住居町2-20-1 ☎0193-29-1881

■鶴住居地区サポートセンター

釜石市鶴住居町29-33-1 ☎0193-29-1680

■いきいき唐丹福祉センター

いきいき唐丹居宅介護支援センター、唐丹地区在宅介護支援センター、いきいき唐丹デイサービスセンター

釜石市鶴住居町字小白浜36-1 ☎0193-55-2179

●職員数68名 役員・評議員数21名

社会福祉施設 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために！

プラン1 施設業務のための補償

(賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険)

①基本補償

- 基本補償(A型)は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
- 見舞費用付補償(B型)は、賠償責任のない場合の見舞金が充実

- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 施設の医療事故補償

②個人情報漏えい対応補償

- 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含みます)に補償

③施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆スケールメリットを活かし、充実した補償内容です。

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営している社会福祉施設です。



プラン2 施設利用者のための補償

(普通傷害保険)

- ①入所型施設利用者の傷害事故補償
- ②通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

- ①施設の労災上乘せ補償
- ②施設職員の傷害事故補償
- ③施設職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

団体
契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会
(引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

取扱
代理店

株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763